お知らせ

NTTアーバンソリューションズ総合研究所

2026年11月12日

近畿大学 東大阪キャンパスにてAIカメラ等を用いた学修空間評価の実証実験を実施

株式会社NTTアーバンソリューションズ総合研究所（東京都千代田区、代表取締役社長：上野晋一郎　以下、US総研）と桜美林大学（東京都町田市、理事長：大槻達也／学長：畑山浩昭）は、近畿大学 東大阪キャンパスにて、AIカメラ等を用いた実証実験を行います。本実験では、笑顔度や人の導線や滞留などを測定し街づくりにおける空間の評価手法を検証します。

【実施概要】

■取組経緯

本取組はUS総研と桜美林大学との寄付講座におけるプログラムの一環として、昨年度に実施した大阪・関西万博NTTパビリオンにて行った実証実験を元に、学校法人近畿大学、株式会社NTTファシリティーズの協力を得て4者にて実施されるものです。

■設置目的

近畿大学 東大阪キャンパス内複数エリアを対象に、取得されるデータを元にした空間の評価手法を検討します。

■分析手法①※1

【取得】AIカメラが捉えた画像から瞬時に年代・性別・笑顔度・滞留時間を推定し、データに変換。
（画像データは保存されません）

【加工】取得したデータに統計的な処理を施し加工。

【分析】目測による空間の使われ方やタイムラプスカメラなどのデータと組み合わせて分析。

■分析手法②※2

【取得】タイムラプスカメラにて撮影された静止画データを使用し、人の移動軌跡や滞留時間等を取得。

【加工】取得したデータから読取り、個人を特定できない空間的なビジュアル表現に加工。

【分析】AIカメラデータや目測による空間の使われ方などのデータと組み合わせて分析。

■撮影期間※3

2026年11月16日　10時～17時を予定。

■カメラ台数・設置位置（撮影範囲）

AIカメラ1台／タイムラプスカメラ3台・近畿大学キャンパス内（計5カ所）

© NTT Urban Solutions Research institute, INC.

なお本実証の分析結果は US 総研および桜美林大学での検証後、学校法人近畿大学および株式会社 NTT ファシリティーズへ共有する予定です。US 総研では、個人情報の保護に関する法令の遵守に関する方針を定め適切に運用。情報セキュリティに関する基本方針についても定めております。詳しくは US 総研 HP※4,5および桜美林大学 HP※6をご確認ください。

注釈
※１：AI カメラの画像は一切保存されず、画像から推定されるデータに即時に変換されます。US 総研や桜美林大学が最終的に保持するデータに特定の個人を識別する情報は含まれません。
※２：静止画データについては、個人情報保護方針およびセキュリティ規定に基づき、US 総研のセキュリティ環境のみで取り扱い、個人を特定できない空間的なビジュアル表現に加工したのち、速やかに元データの削除を実施します。
※３：当日の天候により実施しない場合があります。
※４：US 総研個人情報保護方針（https://www.ntt-us.com/usri/policy/pdf/statement.pdf?ver=1.01）
※５：US 総研情報セキュリティ基本方針（https://www.ntt-us.com/usri/policy/pdf/g_policy.pdf）
※６：桜美林大学プライバシーポリシー（https://www.obirin.ac.jp/privacy_policy/）

【本件に関するお問い合わせ先】
NTT アーバンソリューションズ総合研究所　MAIL：pfm-usri-gm@ntt-us.com

© NTT Urban Solutions Research institute, INC.